

科目名	作業療法評価学Ⅱ						
科目名(英)	Introduction to OT Assessment Ⅱ						
単位数	4	時間数	60時間	担当者	野村 和代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部3年						
授業概要	作業療法のアプローチを行う上で必要なことは、対象となるクライアントのを知ることである。そのためには身体的・精神的・社会的な情報を、直接的・間接的に収集し統合し、解釈しなければならない。この授業では、主に身体的な情報を集める為の技術を身に付ける。そしてその集めたデータがクライアントの生活にどう結びついていくのかを考える。						
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				作業療法における評価の目的と流れを理解し、説明できる	
	○	○				作業療法評価に必要な各種の検査・測定法を知り、臨床的意義を理解する	
	○	○	○	○		各種の検査・測定の方法を、健常者に対する実技演習をとおして習得する	
	○	○				評価結果から得られたデータが実際の生活にどう影響しているかを説明できる	
テキスト・教材 参考図書	教科書：1)能登真一他編集：標準作業療法学専門分野 作業療法評価学第3版、医学書院、2017。 2)市川和子編集：標準作業療法学専門分野 作業療法臨床実習とケーススタディ第2版、医学書院、2011。 3)青木隆明監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術上肢改訂第2版、メジカルビュー社、2012。 5)青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術下肢・体幹改訂第2版、メジカルビュー社、2012。 6)福田修監修：ROM測定第2版、三輪書店、2017。 7)上田敏著：ICFの理解と活用、萌文社、2008。 8)鈴木則宏編集：神経診察クローズアップ第2版、メジカルビュー社、2017。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション/作業療法評価総論				配布資料を復習し、評価尺度と検査、測定について理解しておく。	
	2	ICFIについて/評価に関する記録と報告/面接と観察				対象者とOTのやり取りを示す漫画プリントに良い例悪い例の台詞を入れておく。	
	3	形態計測				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	4	関節可動域測定①総論、肩関節				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	5	関節可動域測定②肩関節、肩関節、肘関節				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	6	関節可動域測定③手関節、手指				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	7	関節可動域測定④股関節、股関節、膝関節				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	8	関節可動域測定⑤足関節、足趾、体幹、頸部、まとめ				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	9	粗大筋力測定/徒手筋力検査①総論				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	10	徒手筋力検査②上肢のキーマッスル				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	11	徒手筋力検査③上肢のキーマッスル、下肢のキーマッスル				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	12	徒手筋力検査④下肢のキーマッスル、体幹、頸部				実技の復習と次回の範囲必要な解剖、運動学の予習をしておく。	
	13	徒手筋力検査⑤体幹・頸部、臨床や国家試験で重要な部位				前期の総復習をして最終授業での質問事項をまとめておく。	
	14	徒手筋力検査⑥臨床や国家試験で重要な部位				試験に向けて知識の確認と実技練習を入念にしておく。	
15	まとめ				試験に向けて知識の確認と実技練習を入念にしておく。		
評価方法	(1)試験(実技)を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	実技試験	◎	◎	◎	◎		40%
履修上の注意	実技指導時の服装は、学則及び臨床実習時の心得に順ずる。(実習着・実習靴・白い靴下・長髪はまとめる)						

科目名	身体障害作業療法学						
科目名(英)	OT for Physical Dysfunction						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	松田 茂		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	病院において 作業療法士として勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部3年						
授業概要	臨床での身体障害の作業療法は様々な疾患や障害と出会うことになる。それゆえ多くの疾患を知る必要がある。この授業では、作業療法の介入の基礎となる一般的なことや、疾患に対する具体的な作業療法のアプローチを学ぶ。前期には脳血管障害を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身体障害の概念を説明できる。	
	○	○				身体障害に対する作業療法の基本的な考え・役割・手段・流れを説明できる。	
	○	○				作業療法の対象となる代表的な疾患(脳血管障害)について説明できる。	
	○	○				作業療法の具体的な介入方法を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	教科書:1)身体障害作業療法,メジカルビュー,2)身体障害領域の作業療法,中央法規,3)図解 作業療法技術ガイド,文光堂,4)病気が見える vol.7 脳・神経,メディックメディア 参考文献:1)福井園彦:脳卒中最前線,医歯薬出版,2)WHO IC F国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—,中央法規,3)中田真由美他:知覚を見る生かす 手の知覚再教育,共同医書出版,4)沖田実:関節可動域制限						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション、総論			配布プリントを復習する。		
	2	総論 関節可動域訓練			配布プリントを復習する。		
	3	総論 関節可動域訓練(実習)			配布プリントを復習する。		
	4	総論 筋力低下・持久力低下			配布プリントを復習する。		
	5	総論 筋力低下・持久力低下(実習)			配布プリントを復習する。		
	6	総論 感覚、総論 感覚(実習)			配布プリントを復習する。		
	7	総論 筋緊張			配布プリントを復習する。		
	8	総論 ボディメカニクス・姿勢とバランスの制御			配布プリントを復習する。		
	9	総論 廃用症候群			配布プリントを復習する。		
	10	総論 物理療法			配布プリントを復習する。		
	11	各論 脳血管障害			配布プリントを復習する。		
	12	各論 脳血管障害			配布プリントを復習する。		
	13	各論 脳血管障害			配布プリントを復習する。		
	14	各論 脳血管障害			配布プリントを復習する。		
15	前期の振り返り						
評価方法	(1)レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				80%
	レポート	◎	◎				20%
履修上の注意							

科目名	発達障害作業療法学						
科目名(英)	Occupational Therapy of Developmental disorders						
単位数	4	時間数	60時間	担当者	藤川 貴子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部3年						
授業概要	発達障害の作業療法を実施するうえで必要な、知識基盤、理論的基盤、技法を理解する。介護体験実習を通して、対象児者への理解を深める。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				人間発達学で学んだ発達過程、発達領域に関する知識を作業療法評価に活用できる。	
	○	○				発達障害領域における作業療法の理念、目的、役割を説明することができる。	
	○	○				発達障害領域における作業療法の流れを説明することができる。	
	○	○				代表的障害(発達障害、脳性まひ、摂食嚥下障害)について臨床像を説明することができる。	
	○	○				上記障害の治療、指導、援助内容を考えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	長崎 重信監修、作業療法学7 ゴールド・マスター・テキスト 発達障害作業療法学、メジカルビュー社 参考文献:1)岩崎 清隆著、発達障害と作業療法[基礎編]、三輪書店 2)岩崎 清隆・岸本 光夫著、発達障害と作業療法[実践編]、三輪書店 3)今川 忠男訳、脳性麻痺児の早期治療、医学書院 4)今川 忠男、発達障害児の新しい療育、三輪書店 5)辛島 千恵子編集、発達障害をもつ子どもと成人、家族のためのADL、三輪書店 6)辛島 千恵子編集、発達障害をもつ子どもと成人、家族のためのADL(実践編)、三輪書店 7)辛島 千恵子編集、広汎性発達障害の作業療法 根拠と実践 8)鴨下 賢一編著、池田 千紗・小玉 武志・高橋 知義著、発達に気がなる子の脳と体をそだてる感覚あそび						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	発達障害領域の作業療法とは?子どもの発達と作業療法(姿勢・運動発達とその背景)			配布した資料で復習をすること。		
	2	子どもの発達と作業療法(感覚統合機能、認知・思考機能、コミュニケーション機能の発達)			配布した資料で復習をすること。		
	3	子どもの発達と作業療法(子どもの発達と遊び・セルフケアの発達と遊び)			配布した資料で復習をすること。		
	4	評価(発達障害領域の作業療法評価)			配布した資料で復習をすること。		
	5	評価(情報収集および面接、観察の視点)			配布した資料で復習をすること。		
	6	評価(評価結果と障害構造の分析)(評価結果と障害構造の分析)			配布した資料で復習をすること。		
	7	感覚統合機能に対するアプローチ(感覚統合障害とは?)			配布した資料で復習をすること。		
	8	感覚統合機能に対するアプローチ(感覚統合機能評価)			配布した資料で復習をすること。		
	9	感覚統合機能に対するアプローチ(具体的アプローチ)			配布した資料で復習をすること。		
	10	感覚統合機能に対するアプローチ(適応行動を促すための環境調整・セルフケアの援助)			配布した資料で復習をすること。		
	11	姿勢と運動へのアプローチ(姿勢と運動の障害とは?姿勢と運動の評価)			配布した資料で復習をすること。		
	12	姿勢と運動へのアプローチ(予測される問題とその対応)			配布した資料で復習をすること。		
	13	治療的アプローチ(姿勢と運動へのアプローチ、介護体験実習(予定))			配布した資料で復習をすること。		
	14	介護体験実習(予定)					
15	介護体験実習(予定)						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
履修上の注意	※その他、必要なものについては授業の中で提示します						

科目名	精神障害作業療法学Ⅰ						
科目名(英)	Psychiatry occupational therapy						
単位数	4	時間数	60時間	担当者	青山 克実		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部3年						
授業概要	精神障害者処遇や精神医学、精神科作業療法の歴史的背景および精神障害者を支援する制度を学び、現在の精神科リハビリテーションおよび精神科作業療法の概要を知る。また、精神科作業療法の治療構造や方法、プロセス、構成的・非構成的評価の方法を学ぶ。本講義では、人間作業モデルおよびICFを理論的基盤とし、クライアントの状態の概念化のための思考プロセスを演習を通して学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○	○			精神保健・福祉領域における法律・施策を説明することができる。		
	○	○			精神科リハビリテーションの構造と作業療法の役割、治療構造を説明できる。		
	○	○			精神疾患の回復過程ごとの特徴と作業療法の主な目的を説明できる。		
	○	○	○		精神科作業療法のインターク面接および構成的・非構成的評価を実施できる。		
○	○	○		クライアントの情報を人間作業モデルおよびICFに基づいて分類し、状態像を概念化できる。			
テキスト・教材 参考図書	教科書:①青山 克実:精神科作業療法第7版。(非売品)②石井 良他編:精神障害領域の作業療法 第2版. 中央法規						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	世界における精神障害者処遇と精神医療の歴史、日本における精神障害者処遇と精神医療、作業療法の歴史			振り返りシートで復習すること		
	2	精神保健および精神障害者福祉に関する法律と障害者総合支援法(資料づくりとまとめ講義)			振り返りシートで復習すること		
	3	精神疾患の成り立ちと機能障害:認知機能障害の特徴、精神疾患の成り立ちと機能障害~SMSF・BACS-J演習			振り返りシートで復習すること		
	4	精神疾患の成り立ちと機能障害~SMSF・BACS-J演習、精神障害の構造と生活障害について			振り返りシートで復習すること		
	5	生活障害について~LASMI, 聞き取り演習			振り返りシートで復習すること		
	6	パンフレット演習			グループの進捗に応じて時間外も利用し作成すること		
	7	精神障害リハビリテーション総論、精神障害作業療法総論①~精神障害作業療法の目的と治療構造			振り返りシートで復習すること		
	8	精神障害作業療法総論②精神科作業療法のマストアイテム(精神作業療法における基礎理論)、精神障害作業療法総論③~回復過程における作業療法			振り返りシートで復習すること		
	9	精神科作業療法の実践①~プロセスとインターク~, インターク面接演習			振り返りシートで復習すること		
	10	評価のプロセスと情報収集法、非構成的評価演習			振り返りシートで復習すること		
	11	非構成的評価演習、包括的理解と介入計画・実施			振り返りシートで復習すること		
	12	包括的理解と介入計画・実施、集団作業療法			振り返りシートで復習すること		
	13	施設見学実習(精神科病院および作業療法の臨床見学:1人1施設)日程は、施設との調整後に連絡する			所定の書式に応じて施設見学の概要や知り得たこと、感じたことなどをレポートにまとめ提出すること		
	14	施設見学実習(精神科病院および作業療法の臨床見学:1人1施設)日程は、施設との調整後に連絡する			所定の書式に応じて施設見学の概要や知り得たこと、感じたことなどをレポートにまとめ提出すること		
15	施設見学実習報告会と講義のまとめ						
評価方法	(1)レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○				80%
	レポート	○	○		○		20%
履修上の注意							

科目名	装具学						
科目名(英)	Orthotics						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	安部 剛敏		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部2年						
授業概要	1.リハビリテーションにおける装具療法の目的と作業療法士の役割を理解する。 2.各種装具の目的と分類を知ることができる。 3.上肢疾患に対する装具の適応と役割、構造的特徴について理解する。 4.スプリント製作実習を通して製作手順を知り、チェックアウトもできるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				装具療法における作業療法士の役割を理解することができる	
	○	○				各種装具の特徴と適応を理解することができる	
	○	○				スプリントの製作をすることができ、チェックアウトもできるようになる	
テキスト・教材 参考図書	教科書:1)大庭潤平:義肢装具と作業療法 評価から実践まで. 医歯薬出版株式会社 参考文献:1)大嶋伸雄:身体障害領域の作業療法.中央法規、2)日本作業療法士協会:作業療法技術学1 義肢装具学.協同医書出版社、3)清水順市:リハビリテーション 義肢装具学. MEDICAL VIEW						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	コースガイダンス					
	2	装具学総論				振り返りシートで復習すること 小テストの学習をすること	
	3	下肢装具総論				振り返りシートで復習すること	
	4	脳血管障害における下肢装具				振り返りシートで復習すること 小テストの学習をすること	
	5	体幹装具				振り返りシートで復習すること	
	6	肩および肘関節装具				振り返りシートで復習すること 小テストの学習をすること	
	7	末梢神経損傷におけるスプリント療法①(総論)				振り返りシートで復習すること	
	8	末梢神経損傷におけるスプリント療法②(各論)				振り返りシートで復習すること 小テストの学習をすること	
	9	スプリント製作実習オリエンテーション				振り返りシートで復習すること	
	10	スプリント製作実習①(指スプリント)				振り返りシートで復習すること	
	11	スプリント製作実習②(短対立スプリント)				振り返りシートで復習すること	
	12	スプリント製作実習③(カックアップスプリント)				振り返りシートで復習すること	
	13	スプリント製作実習④(カックアップスプリント)				振り返りシートで復習すること 小テストの学習をすること	
	14	事例検討				振り返りシートで復習すること	
15	事例検討				振り返りシートで復習すること		
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				80%
	小テスト	◎	◎				20%
履修上の注意							

科目名	ADL						
科目名(英)	Activities of Daily Living (General)						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	安部 剛敏		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部3年						
授業概要	人の生活におけるADLの位置づけを知り、特に身体障害領域で用いる ADL評価について教授する。また、ADLにおける具体的支援の基本知識と技能についても実技を通して学習する。併せて、ADLを支援するうえで必要な移動補助具について理解を深め、適切に使用することができるようになることも目的とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ADLの定義と分類を整理し説明することができる	
	○	○				ADL評価で用いるFIMとBIIについて理解し、評価することができる	
	○	○	○			OSCEを用いてADLの技能を修得することができる	
	○	○	○			移動補助具の知識を修得し、適切な補助具を選択することができる	
テキスト・教材 参考図書	教科書:1) 藤井浩美:日常生活活動の作業療法. 中央法規, 2) 才藤栄一:臨床技能とOSCE. 金原出版株式会社 参考文献:1) 田中 理:車いす・シーティング-その理解と実践-. はる書房, 2) 古川 宏:作業療法のとらえかた2. 文光堂, 3) 大嶋伸雄:身体障害領域の作業療法. 中央法規						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	コースガイダンス					
	2	ADL(日常生活活動)とAPDL(生活関連活動)の概念と範囲			振り返りシートで復習すること		
	3	身体障害領域におけるADL評価法総論			振り返りシートで復習すること		
	4	身体障害領域におけるADL評価法各論			振り返りシートで復習すること		
	5	セルフケア動作介入への思考過程			振り返りシートで復習すること 宿題レポートを提出すること		
	6	食事動作に対する介入技能			振り返りシートで復習すること 宿題レポートを提出すること		
	7	更衣動作(上衣)に対する介入技能			振り返りシートで復習すること 宿題レポートを提出すること		
	8	更衣動作(下衣)に対する介入技能			振り返りシートで復習すること 宿題レポートを提出すること		
	9	移動補助具の種類と適応および指導方法			振り返りシートで復習すること 宿題レポートを提出すること		
	10	車いすの基礎			振り返りシートで復習すること 宿題レポートを提出すること		
	11	車いす駆動			振り返りシートで復習すること		
	12	車いすシーティング①(リクライニングとティルティング車いす)			振り返りシートで復習すること		
	13	車いすシーティング②(車いすクッション)			振り返りシートで復習すること		
	14	車いすシーティング③(ワークショップ)			振り返りシートで復習すること		
	15	車いすの介助方法			振り返りシートで復習すること		
評価方法	(1)レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				80%
	レポート	◎	◎				20%
履修上の注意							